

歴史探訪

かつて「出版部」が

立命館にあった

— 本学所蔵資料を中心に

* 学園創立者・中川小十郎氏 近影

【開催趣旨】

本学園にもかつて「出版部」(1926(大正15)年～1944(昭和19)年)が存在し、旺盛な出版活動が行われていました。しかし、戦時の企業の統合整備により、1944(昭和19)年に他社と統合してその業務が移管され名称も消滅したこともあり、その沿革等が分かる体系的な資料が残っていません。

2017(平成29)年12月に本学史資料センターオフィスが実施した調査によれば、立命館出版部で出版物として刊行された点数は809点にのぼり、立命館大学図書館にもその一部が保存されています。

本展は、1993(平成5)年12月に当時の立命館百年史編纂室(史資料センターオフィスの前身)の西岡成幸氏により編纂された著作や2020(令和2)年3月に刊行された史資料センター調査研究員・本学授業担当講師である眞杉侑里氏による「研究ノート」などを本展示の基礎資料として活用し、昔日の立命館出版部について思いを馳せる機会をつくらんとして企画したものです。

開催期間：2021.11/2(火)～12/20(月)

主催：立命館大学図書館利用支援課 協力：立命館大学史資料センターオフィス